

# 教育行政方針

本文は、市議会3月定例会で行なった教育行政方針演説の一部を抜粋したものです



教育長 岸本和行

学校教育を取り巻く状況は、改正教育基本法が成立し、今後個から公への転換が図られていくことが予想されます。さらには中央教育審議会や教育再生会議の議論の具体化により、教員免許更新制度の導入、教育委員会制度の在り方等が検討されています。そして、学校現場では、特殊教育から特別支援教育へ、少人数学級の拡大等の動きがある中、高浜市教育委員会では平成19年度下記事項に力を入れて教育行政に取り組みます。

## 【特別支援教育の充実】

既に高浜市では、平成17年度に文部科学省の研究指定を受け、平成18年度より市教委事務局に特別支援教育メインコーディネーター、各小学校にスクールアシスタントと通級指導担当教員を配置するなど、様々な形で特別支援教育の充実に向け取り組んでまいりました。平成19年度はさらに、特別支援教育アドバイザーを専門家にお願ひし、各校への巡回指導等、教員の力量アップのための支援者として導入します。そして、スクールアシスタントの中学校への配置。さらに、地域の皆さんを中心とした特別支援教育有償ボランティアを、該当児童生徒の生活支援のために各小中学校へ導入し、地域と学校が協力し合い、地域の子供たちは地域と学校が一体となつて育む新しい特別支援教育の理念を目指していきます。

## 【少人数学級・少人数指導の充実】

市長がマニフェストに掲げている少人数学級の実施を、小学校2年生について実施いたします。1学級あたりの児童数が少ない港小学校を除く4小学校に少人数学級対応教員を配置します。2年生が35人学級対象となる学校においては、少人数学級を実施し、対象とならない学校においては、新たに配置した教員を従前のサポートティーチ

## 【教師力の向上】

「教育は人なり」とよく言わ

れるように、直接子供を指導する教師の力量が、学力向上をはじめとするあらゆる教育効果に多大な影響を及ぼします。そこで、確かな授業づくり事業を継続していく中で、教師一人ひとりの授業力アップを目指した授業研究を計画的かつ継続して実施します。そして、全ての教師が年間を通して一度は他の教師に授業を公開して自分の授業を振り返る場を設けるようにし、それぞれが切磋琢磨する教師集団の育成に努めます。とりわけ先輩が後輩に指導技術等を伝授する機会を各学校が積極的に設け、熟練の技を若い力に注ぐようにしていきます。

## 【信頼される学校】

各学校は、学校評価活動において、自己点検や保護者アンケートに加えて学校評議員等による外部（第三者）評価を行っています。この結果を含めた外部（第三者）評価の方法を検討委員会できちんとしながら、よりよい更新策が提案される中で、それが学校経営に反映される「生き生きとした学校評価活動とは」を研究していきます。また、組織マネジメントの研修をさらに推し進め、外圧におもねるのではなく内側からの変革を推進し、地域から信頼される学校を目指します。

## 【心の教育・道徳教育の充実】

言うまでもなく教育の根幹は人格形成です。昨今の日本社会の状況やいじめ問題を考えると、学力向上以上に心の教育がクローズアップされます。心の教育の主たるものは、学校教育活動全体で取り組む道徳教育です。そして、道徳教育の要は道徳の時間です。信頼関係に裏付けされた担任による子ども心を揺さぶる道徳の授業実践と、体験の多い子どもほど道徳性が高いと言われるように、学校行事や総合的な学習の時間等において、様々な体験活動をさせて自己肯定感を味わわせ、それを自信につなげるように仕組むことが重要です。高浜市教育委員会では、市内の全ての小中学校で道徳の授業を中心に心の教育に力を入れて取り組むようにし、様々な角度からのアプローチを通して、児童生徒の心を鍛える実践を積み上げていきます。

これからの学校教育を考えたとき、キーワードは学校の品格を取り戻すことだと思えます。学校の品格は、そこに通う子どもが行動や勤める教職員の意識だけでなく、学区全体の環境やモラルも含め、総合的に形成されてくるのだと思えます。そして、この学校の品格が低下している現状を憂えるのではなく、今こそ、学校・家庭・地域社会が一体となって学校の品格を取り戻すことに全力を挙げるのが大切なことだと考えます。

教育改革の最中、2学期制3年目、特別支援教育初年度を迎え、教育を取り巻く環境は大きく変貌していますが、「社会に貢献する人間をつくる」という理念は不変です。地域社会の弱体化といった全国的な傾向はありますが、高浜市にはきちんとした伝統に裏付けされた地域社会があります。子どもは宝です。その宝を地域社会と家庭と学校が、それぞれの役割を担って守り育てていかなければなりません。高浜市教育委員会では、学校の品格を取り戻すべく、子どもが健やかな成長を願ひ、学校現場が生きていくと教育活動ができるよう、人的・物的支援や当面する教育課題に対する指導助言に尽力してまいります。